

地域完結型の 医療連携重要

市民団体代表が講演

【遠軽】地域医療充実への機運を高めようと、遠軽商工会議所は18日、市民団体「北見赤十字病院の明日を考え支援する会」の逢坂信治代表らの講演会を町内のホテルで開き、約120人が参加した。



「地域住民が医療を盛り上げ、病院と信頼関係を築いてほしい」と訴える逢坂信治代表

「地域完結型」

演題は「地域医療を支えるがんぼうの風を興そう」

明日の豊かな地域医療に向かつて」。逢坂代表は、病院や診療所が特長を活かしながら、一つの地域の中で役割分担する地域完結型医療連携の重要性を強調。

「リハビリや救急など、医療のニーズは多様化している。医療従事者の負担を分散させることが退職者を減らし、医師の定着につながる」などと述べた。

講演会では谷川勝男副代表、阿久津俊子事務局長も話した。

(高橋智也)

議会だより

「年金機構意見書」など可決◇遠軽町 定例会は21日、丸瀬布小の耐震改修工事の請負契約締結に関する議案1件と、「日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求める意見書」を原案通り可決し、会期を1日残して閉会した。

道報 430-06.22